

第32期事業報告書

2003年4月1日から2004年3月31日まで



ローランド株式会社

contents

財務ハイライト	1
株主のみなさまへ	2
営業の概況	3
連結財務諸表(要旨)	5
単独財務諸表(要旨)	7
株式の状況	9
株主メモ	10
新製品のご紹介	11
トピックス	15
ブランドについて	17
会社の概況	18

ローランド企業スローガン

創造の喜びを世界にひろめよう BIGGESTよりBESTになろう 共感を呼ぶ企業にしよう

ローランド独自の企業活動の根底にある精神は、上記3つのスローガンに集約されます。これこそ当社の企業としての意志であり、無限の可能性を秘めた音創りの明日に向かって、果てしなく広がる、大きな夢の源にほかなりません。これからのローランドにどうぞご期待ください。

財務ハイライト

3月31日に終了した事業年度		2004年3月期	2003年3月期
単位：百万円（1株当たり金額を除く）			
連結	売上高	65,398	63,322
	経常利益	3,654	2,405
	当期純利益	1,120	1,189
	1株当たり当期純利益（円）	42.53	47.63
	総資産	66,900	67,383
単独	売上高	29,526	28,016
	経常利益	1,013	773
	当期純利益	708	158
	1株当たり当期純利益（円）	27.26	6.21
	総資産	45,407	46,076

株主のみなさまへ



取締役社長 檀 克義

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第32期（2003年4月1日から2004年3月31日まで）の事業の概要および決算につき、ご報告申し上げます。

当期の業績につきましては、北米においては円高等により厳しい状況を余儀なくされましたが、欧州向け輸出が順調に推移し、また、コンピュータ周辺機器事業が国内外ともに順調に推移した結果、連結、単独決算ともに経常増益、純利益は黒字転換いたしました。

利益配当金につきましては、収益の回復から、1株につき1円50銭増額して10円（中間配当金を含め年間配当金は1株につき18円50銭）とさせていただきます。

国内では引き続き個人消費が低迷すると予想されますが、世界経済全体はゆるやかな回復基調に移ると期待されます。この機会を逃すことなく、製品力強化と業務改革によるコスト削減に努めることにより、さらなる収益の向上と企業価値の増大に取り組んでまいりますので、今後とも株主のみなさまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2004年6月

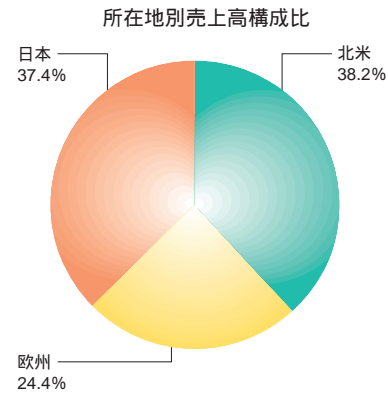
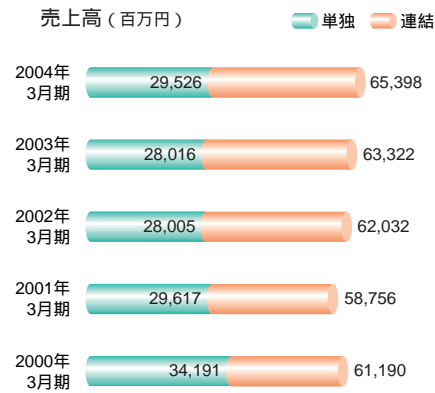
業績全体の概況

当期の経済環境は、米国経済の回復と中国経済の堅調な推移を背景として、国内においても輸出、設備投資を中心に景気回復の兆しがあったものの、デフレ基調は変わらず、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下において電子楽器事業では、シンセサイザーをはじめとする話題性のある新製品を積極的に投入し、市場の活性化に努めました。欧州ではユーロ高を受け好調に推移しましたが、国内ならびに北米は前期を下回り、特に最大市場である北米においては、音響機器等の販売減に円高が重なり、厳しい状況を余儀なくされました。

一方、コンピュータ周辺機器事業は、需要拡大が期待できる「カラー&3D」の二分野を中心に積極的な営業展開を図りました。国内は厳しい状況を脱し、順調に売上を伸ばす一方、海外においては北米、欧州、アジアはもとより全地域で大きく売上を伸ばすことが出来ました。

上記の結果、営業利益3,586百万円（前期比70.8%増）、経常利益3,654百万円（前期比51.9%増）となり、当期純利益も前期の純損失に対し11億200百万円となりました。



	第28期 (2000年3月期)	第29期 (2001年3月期)	第30期 (2002年3月期)	第31期 (2003年3月期)	第32期 (2004年3月期)	
連結	売上高（百万円）	61,190	58,756	62,032	63,322	65,398
	経常利益（百万円）	5,224	2,304	2,183	2,405	3,654
	当期純利益（百万円）	3,381	808	300	1,189	1,120
	1株当たり当期純利益（円）	132.81	31.61	11.73	47.63	42.53
単独	売上高（百万円）	34,191	29,617	28,005	28,016	29,526
	経常利益（百万円）	3,188	977	480	773	1,013
	当期純利益（百万円）	2,301	1,053	471	158	708
	1株当たり当期純利益（円）	90.39	41.19	18.43	6.21	27.26

セグメント別営業の概況

電子楽器事業

「電子楽器」の分野は、シンセサイザーの高価格帯新製品やラインナップを強化したギター用アンプが日米欧において好調に推移しました。ギター用コンパクト・エフェクターも累計800万台生産を達成するなど世界的に堅調に推移した結果、全体では前期を上回りました。

「家庭用電子楽器」の分野は、北米、欧州において高額機種の子ピアノが売上を伸ばすとともに、日本においてはコンパクトなデザインのスタイリッシュ・タイプや機能を絞り込んだシンプルな電子ピアノが売上を伸ばしましたが、自動伴奏付きキーボードの売上が減少した結果、全体では前期を下回りました。

「音響機器」の分野は、主力製品であるデジタル・レコーダーの普及価格帯新製品が好調に推移しましたが、高価格帯機種が減少し、全体では前期を下回りました。

「コンピュータ・ミュージック関連機器他」の分野は、大型クラシック・オルガン、音楽教室収入などが減少しましたが、パソコンによる音楽制作・デジタル録音に対応したUSBオーディオ機器が堅調に推移し、全体では前期を上回りました。

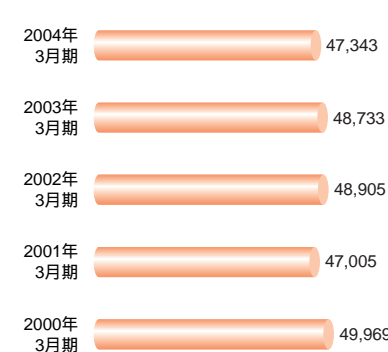
コンピュータ周辺機器事業

需要拡大が期待できる「カラー&3D」の二分野を中心に積極的な営業展開を図りました。

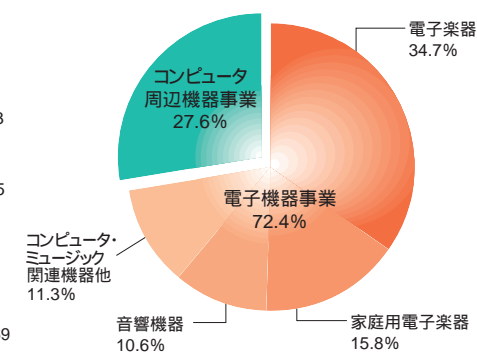
「カラー」の分野は、屋外広告用途の需要増に応え、耐候性、発色性に優れ、環境負荷を考慮した溶剤系インクジェットプリンターを新たに投入し、多様化するユーザーの用途に対応すべく、当社の各種技術を結集してオンデマンド印刷を可能にする中型新機種を発売するなど、サイン市場を中心に最適なソリューションの提案を行いました。

「3D」の分野は、製造業において、ものづくり工程のデジタル化が進む中、セミナーや展示会などを通じ、試作、部品加工および簡易金型作成など、積極的に用途提案を行い、需要拡大の効果をえました。

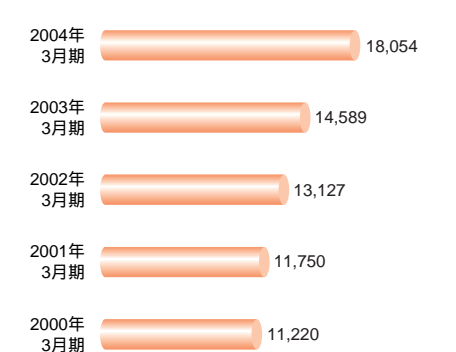
電子楽器事業売上高（百万円）



事業のセグメント別売上高構成比



コンピュータ周辺機器事業売上高（百万円）



連結貸借対照表(要旨)

			(単位:百万円)		
科 目	当 期	前 期	科 目	当 期	前 期
	2004年3月31日現在	2003年3月31日現在		2004年3月31日現在	2003年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	41,345	42,707	流動負債	9,422	11,447
現金及び預金	15,166	18,845	支払手形及び買掛金	3,876	3,325
受取手形及び売掛金	9,808	8,426	短期借入金	1,409	2,880
たな卸資産	12,201	11,927	その他	4,135	5,241
その他	4,584	3,984	固定負債	1,457	1,020
貸倒引当金	415	476	負債合計	10,879	12,467
固定資産	25,554	24,675	少数株主持分		
有形固定資産	15,411	15,944	少数株主持分	8,151	7,066
建物及び構築物	7,601	8,106	資本の部		
工具器具備品	1,614	1,682	資本金	9,274	9,274
土地	5,399	5,403	資本剰余金	10,800	10,800
その他	796	751	利益剰余金	30,384	29,719
無形固定資産	1,261	1,012	土地再評価差額金	1,295	1,295
投資その他の資産	8,881	7,718	その他有価証券評価差額金	273	8
投資有価証券	3,371	3,063	為替換算調整勘定	892	406
その他	5,568	4,714	自己株式	676	251
貸倒引当金	59	60	資本合計	47,868	47,848
資産合計	66,900	67,383	負債、少数株主持分及び資本合計	66,900	67,383

連結損益計算書(要旨)

科 目	(単位:百万円)	
	当 期 (2003年4月1日から 2004年3月31日まで)	前 期 (2002年4月1日から 2003年3月31日まで)
売上高	65,398	63,322
売上原価	38,952	37,984
売上総利益	26,446	25,338
販売費及び一般管理費	22,859	23,238
営業利益	3,586	2,100
営業外収益	681	630
営業外費用	613	324
経常利益	3,654	2,405
特別利益	191	56
特別損失	265	1,700
税金等調整前当期純利益	3,580	762
法人税、住民税及び事業税	1,556	1,649
過年度法人税等		560
法人税等調整額	95	794
少数株主利益	999	536
当期純利益又は純損失()	1,120	1,189

連結決算の範囲

		当 期	前 期
		(2004年3月31日まで)	(2003年3月31日まで)
連結子会社	国内	6社	7社
	海外	15社	14社
持分法適用関係会社	海外	3社	4社

連結剰余金計算書(要旨)

科 目	(単位:百万円)	
	当 期 (2003年4月1日から 2004年3月31日まで)	前 期 (2002年4月1日から 2003年3月31日まで)
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	10,800	10,800
資本剰余金増加高	0	
自己株式処分差益	0	
資本剰余金期末残高	10,800	10,800
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	29,719	31,403
利益剰余金増加高	1,120	
当期純利益	1,120	
利益剰余金減少高	454	1,684
当期純損失		1,189
配当金	431	472
役員賞与	23	23
利益剰余金期末残高	30,384	29,719

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科 目	(単位:百万円)	
	当 期 (2003年4月1日から 2004年3月31日まで)	前 期 (2002年4月1日から 2003年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,128	4,415
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,228	2,116
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,498	2,515
現金及び現金同等物に係る換算差額	79	84
現金及び現金同等物の減少額	3,678	300
現金及び現金同等物の期首残高	18,845	19,145
現金及び現金同等物の期末残高	15,166	18,845

単独貸借対照表(要旨)

			(単位:百万円)		
科 目	当 期	前 期	科 目	当 期	前 期
	2004年3月31日現在	2003年3月31日現在		2004年3月31日現在	2003年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	17,036	18,678	流動負債	4,354	5,203
現金及び預金	6,734	9,217	買掛金	1,892	1,602
受取手形及び売掛金	4,670	4,074	短期借入金	1,000	1,500
たな卸資産	2,795	2,399	その他	1,461	2,101
その他	2,856	3,002	固定負債	275	205
貸倒引当金	20	14	負債合計	4,629	5,409
固定資産	28,370	27,397	資本の部		
有形固定資産	9,684	9,963	資本金	9,274	9,274
建物	4,438	4,706	資本剰余金	10,800	10,800
工具器具備品	712	670	資本準備金	10,800	10,800
土地	4,136	4,136	その他資本剰余金	0	
その他	397	450	利益剰余金	22,406	22,129
無形固定資産	370	384	利益準備金	847	847
投資その他の資産	18,315	17,050	任意積立金	21,030	21,336
投資有価証券	13,628	11,684	当期末処分利益又は未処理損失()	528	54
長期貸付金	1,056	1,512	土地再評価差額金	1,295	1,295
その他	4,171	4,270	其他有価証券評価差額金	268	9
貸倒引当金	541	416	自己株式	676	251
資産合計	45,407	46,076	資本合計	40,777	40,667
			負債及び資本合計	45,407	46,076

単独損益計算書(要旨)

科 目	(単位:百万円)	
	当 期 (2003年4月1日から 2004年3月31日まで)	前 期 (2002年4月1日から 2003年3月31日まで)
売上高	29,526	28,016
売上原価	22,111	21,196
売上総利益	7,414	6,820
販売費及び一般管理費	6,888	6,825
営業利益又は営業損失()	526	5
営業外収益	718	801
営業外費用	230	23
経常利益	1,013	773
特別利益	738	1,971
特別損失	908	3,026
税引前当期純利益又は当期純損失()	844	281
法人税、住民税及び事業税	21	127
過年度法人税等		560
法人税等調整額	115	810
当期純利益又は当期純損失()	708	158
前期繰越利益	36	320
中間配当額	215	216
当期末処分利益又は当期未処理損失()	528	54

利益処分

科 目	(単位:百万円)	
	当 期 (2003年4月1日から 2004年3月31日まで)	前 期 (2002年4月1日から 2003年3月31日まで)
当期末処分利益又は当期未処理損失()	528	54
任意積立金取崩額	8	308
別途積立金取崩額		300
特別償却準備金取崩額	8	8
計	537	253
これを次のとおり処分しました。		
利益処分額	268	217
配当金	251	215
	(1株につき10円)	(1株につき8円50銭)
役員賞与金	17	
任意積立金		1
特別償却準備金		0
固定資産圧縮積立金		1
次期繰越利益	268	36

(注)2003年12月10日に、215百万円(1株につき8円50銭)の中間配当を実施しました。

株式の状況 (2004年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	50,000,000株
発行済株式総数	25,572,404株
自己株式数	459,844株
株主数	4,703名

大株主 (2004年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
梯 郁太郎	3,084	12.3
ノーザン トラスト カンパニー(エイブ イーフシー)サブ アカウト アメリカン グライアント(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	2,620	10.4
パイオニア興産株式会社	1,800	7.2
財団法人ローランド芸術文化振興財団	1,585	6.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,185	4.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	821	3.3
ローランド社員持株会	714	2.8
株式会社りそな銀行	561	2.2
パイオニア株式会社	519	2.1
ローランド共栄会	260	1.0

単元未満株式買増制度のご案内

当社は単元未満株式の買増制度を採用しております。この制度は、株主様が1単元(100株)に満たない株式を所有されている場合、1単元に不足する株式を売り渡すよう発行会社に請求し、1単元に買増することができる制度です。例えば、当社株式150株を所有されている場合、当社に50株の買増しをご請求いただき、所有株式を200株にすることができます。具体的なご請求手続きや代金の支払方法などにつきましては、当社名義書換代理人(株式会社だいこう証券ビジネス)にお問い合わせください。

なお、単元未満株式の買取請求につきましても、引き続きお手続きいただけますので、買取をご希望される場合は、当社名義書換代理人までお問い合わせください。

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
1単元の株式の数	100株
基準日	定時株主総会 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
配当金受領 株主確定日	利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
上場証券取引所 名義書換代理人	東京・大阪証券取引所市場第一部 大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス
同事務取扱場所	〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部
(各種お問い合わせ)	電話 0120-255-100 株式関係のお手続用紙のご請求は次の電話番号およびインターネットで24時間承っております。 電話 0120-351-465 http://www.daiko-sb.co.jp
同 取 次 所	株式会社だいこう証券ビジネス 各支社

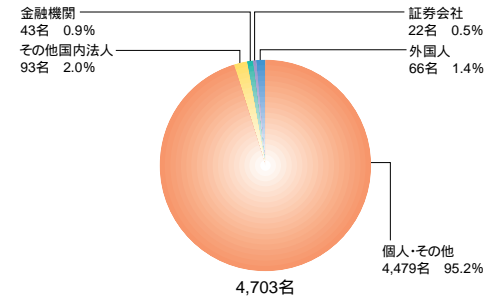
配当金口座振込のおすすめ

配当金のお受取りは、口座振込が便利です。口座振込の場合は、支払開始日に自動的にご指定口座へ入金させていただきますので、受取り忘れといったこともなくなり安心です。口座振込による配当金のお受取りをご希望の場合は、当社名義書換代理人(株式会社だいこう証券ビジネス)に「配当金振込指定書」をご請求ください。

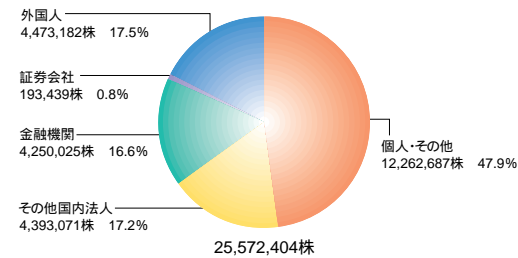
決算公告のお知らせ

日本経済新聞に掲載する決算公告に代えて貸借対照表及び損益計算書を当社ホームページ(<http://www.roland.co.jp/ir/index.html>)で開示しております。

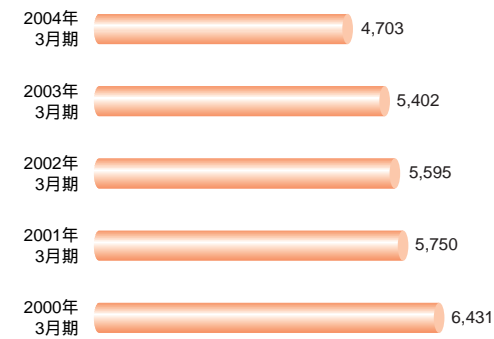
所有者別株主分布状況 (2004年3月31日現在)



所有者別株式分布状況 (2004年3月31日現在)



株主数の推移



最新の音楽制作を一台で完結できる
シンセサイザー

Fantom-X (ファントムX) シリーズ



音楽制作やライブ演奏において、プロフェッショナルな現場でも既に高い評価をいただいているシンセサイザーFantomシリーズの最新モデル「Fantom-X」シリーズ。新開発の音源チップにより、シンセサイザーでは最高水準の最大同時発音数128音、拡張メモリーなどを含めるとギガ・クラスにおよぶ膨大なウェーブ・メモリーを実現しました。また、機能を加えるだけではなく「使いやすさ」の向上に努め、シンセサイザー史上初の大型カラー液晶画面を装備し、優れた操作性を実現しています。

NEW
PRODUCT

簡単な操作で多彩なサウンドを演奏できる
ギター・シンセサイザー

GR-20

当社は、1977年にGR-500を発売以来、ギターでシンセサイザーを演奏するローランド・ギター・シンセサイザー GRシリーズの開発・普及に取り組んでまいりました。「GR-20」はGRシリーズの多彩なサウンドと優れた演奏表現力を受け継ぎながら、シンセサイザー初心者でもギター・エフェクター感覚の簡単な操作で演奏できる新製品です。ギター・シンセサイザーのさらなる普及に努めてまいります。



さらに演奏表現力を身につけた
電子ドラム

V-Drums ニューラインナップ

当社独自開発のメッシュ・パッド（網目構造により音の出ないドラム打面）とデジタル音源を組み合わせることにより、生のドラムと同じ演奏感が得られながらも消音性に優れ、さまざまなドラムやパーカッションなど多彩なサウンドが演奏できる電子ドラムのニューラインナップ。電子ドラムでは世界初の開閉型ハイハットを採用、音源も一新し演奏表現力を大きく向上させました。ステージでの演奏やレコーディングだけでなく、練習用としても数多くのドラマーをサポートしています。



レコーディングからオリジナルCD作成まで可能な
デジタル・レコーダー

VS-2000CD

当社は、1996年のVS-880発売以来、デジタル・レコーダー市場のリーディング・カンパニーとして新たな音楽制作スタイルを提案してまいりました。「VS-2000CD」は、音楽制作の要となる、レコーディング、ミキシングはもちろん、オリジナル音楽CD作成をプロ同様のクオリティとプロセスで行なえる、いわば小さな音楽スタジオです。価格を抑えながらも、多彩な機能を搭載し、本格的な音楽制作が1台で楽しめるデジタル・レコーダーです。





AT-45

より親しみやすくなった
電子オルガン

ミュージック・アトリエのニューモデル AT-45、AT-15、AT-5

ローランド・オルガン「ミュージック・アトリエ」シリーズは、伝統あるオルガン・サウンドを忠実に受け継ぎ、さらにデジタルならではの自動伴奏機能やミュージックデータの活用を可能とする新しい機能をふんだんに備えた電子オルガンとして、オルガン愛好家の方々より高い評価をいただいております。

オルガン演奏の素晴らしさを一人でも多くの方にとの願いから、上位機種に匹敵する豊かな演奏表現力を備えた中級モデル「AT-45」、エントリー・モデル「AT-15」、「AT-5」の電子オルガン3機種を発売。オルガンをより身近にする、魅力あふれるミュージック・アトリエ・シリーズです。



DP-700

洗練されたデザインと豊かな音をそなえた
電子ピアノ

DP-900、DP-700、 F-50、FP-2

コンパクトなボディに高品位なピアノ音をはじめとする豊かなサウンドを搭載したローランドのスタイリッシュ・ピアノ・シリーズに新たな仲間が加わりました。お部屋にじっくり馴染むライトチェリー調仕上げの高級感あふれるフォルムの「DP-900」と「DP-700」、さらに軽量・コンパクト設計で移動も簡単な「F-50」、サルビア・シルバーのボディでクールな外観の「FP-2」。気軽にご家庭で電子ピアノを楽しんでいただけます。



超小型ボディにこだわりのサウンドを
凝縮したギター・アンプ

MICRO CUBE



快適なコンピュータ・ミュージック環境を提供する
音楽制作ソフトウェアとハードウェアのカップリング

SONAR 3 (ソナー3) シリーズ

米国大手コンピュータ・ミュージック・ソフトウェア会社であるCakewalk (ケーキウォーク) 社との提携により、強力なコンピュータ・ミュージック関連機器製品を多数発売しました。世界中のクリエイターの圧倒的な支持を獲得しているSONAR (ソナー) をさらにメジャー・バージョン・アップした音楽制作ソフトウェア「SONAR3」。画面デザインも一新し、作業中の手を止めずに快適に音楽制作を進められるように、細かい部分まで配慮しています。パソコンに高音質のオーディオ入出力を提供するUSBオーディオ・インターフェイスUA-1000をカップリングしたソナー・パーフェクト・ソリューションUA-1000モデルなど、好みに応じパーフェクトな音楽制作環境が手に入るスペシャル・パッケージも取り揃えています。



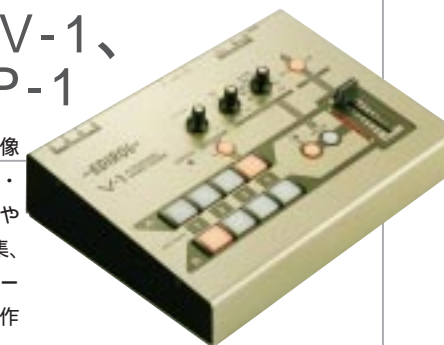
NEW
PRODUCT

高音質設計の小型ギター・アンプとして多くのギタリストから好評をいただいているCUBEシリーズにニュー・モデルが加わりました。高音質と想像を超えるパワー、多彩な機能を幅24.4cm、高さ22.6cm、重さ3.3kgに凝縮。電池駆動も可能な、ストリート・ライブから自宅練習までお使いいただけるマイクロ・サイズのギター・アンプです。

映像演出を幅広くサポートする

高機能ビデオ・ミキサー V-1、 フォト・プレゼンター P-1

簡単な操作で4チャンネルの映像を自在に切り換えられるビデオ・ミキサー「V-1」と、静止画像や音声などを簡単に取り込み、編集、創出できるフォト・プレゼンター「P-1」を発売。シンプルな操作で快適な映像演出やプレゼンテーションをサポートします。



(注) 記載されている社名、製品名などの固有名詞は、各社の登録商標または商標です。

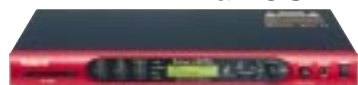
世界の数々の栄えある賞を受賞

今年もローランドグループの製品が世界の数々の栄えある賞を受賞いたしました。
今後もお客様に喜んでいただける、そして音楽を楽しんでいただける製品の開発・製造・販売に努めてまいります。

米国の雑誌社の数々のAwardを受賞。

Electronic Musician
2004 Editors Choice Awards

Best DSP Host : **VariOS**



Best Groove Box : **MC-909**



Modern Drummer Magazine
Consumer Poll Awards
Most Innovative Electronics
Company
Best Quality and Craftsmanship in
Electronics
Most Consumer/Service Oriented
Electronics Company



MMR Magazine
MMR Dealers' Choice Award
Recording Equipment Line of the
Year : **BOSS**



EQ Magazine
EQ Exceptional Quality Award

V-Synth

Remix Magazine
2003 Remix Technology Awards

Best Hardware Sampler :
MC-909

Best Hardware Synthesizer :
V-Synth



英国の出版社 Future Publishing が出版する Future Music, Total Guitar, Guitarist, Rhythmなどの音楽誌読者からの投票により、以下5機種でAwardを受賞。

Future Publishing
Music Magazine Reader Awards 2003
Best Electronic Percussion :
TD-10



Best Acoustic
Amp :
AC-60



Best Floor
Multi FX :
ME-50



Best Multi-Track Recorder under
GBP500 : **BR-864**



Best Multi-Track Recorder over
GBP500 : **BR-1180CD**



世界各国58の音楽/楽器専門誌の投票によって2003-2004年のベスト・プロダクトが選ばれるm.i.p.a.「Musikmesse International Press Award 2004」受賞。

m.i.p.a. 2004

Synthesizer : **V-Synth**

E-Drums : **TD-20 V-Pro**



本社機能の移転集約

ローランド株式会社は、2003年8月18日に本社を大阪市北区堂島浜より大阪市北区曽根崎新地へ移転いたしました。また、同時に、2003年3月14日に発表いたしました事業効率化のための諸施策の実施の一環として、管理部門の業務効率化を図るため、財務部をはじめとする管理部門の大半の機能を静岡県引佐郡細江町のローランド主力工場である細江工場へ移転、集約いたしました。

中国に物流会社設立

「ローランド上海貿易（英語名：Roland Shanghai Logistics Co., Ltd.）」を2003年4月1日に設立いたしました。中国内外に向けたローランドの物流を管理・運営し、さらなる中国市場におけるローランドの電子楽器等の販売・物流網強化と拡大を目指してまいります。



ファミリー・フレンドリー企業表彰 『厚生労働大臣努力賞』受賞

厚生労働省が実施している「ファミリー・フレンドリー企業表彰」において「厚生労働大臣努力賞」を受賞いたしました。ファミリー・フレンドリー企業とは、「仕事と育児・介護とが両立できるような様々な制度を持ち、多様でかつ柔軟な働き方を労働者が選択できるような取り組みを行う企業」をいいます。この度ローランド株式会社は、積極的な取り組みが制度化され



ており、今後の成果が期待される企業として表彰されました。今後も従業員の職業生活と家庭生活との両立を支援する環境整備に取り組んでまいります。

第6回ローランド・バンド・パラダイス開催

楽器演奏を楽しむアマチュアバンドの方々にはライブを体験していただく「ローランド・バンド・パラダイス」を全国各地で開催いたしました。今回で6回を迎えた「ローランド・バンド・パラダイス」は、楽器店、販売店様のご協力のもと、アマチュアバンドの方々自由に参加いただけるライブイベントを全国各地で開催。小学生を中心に結成されたバンドから、若手の現役バンド、40代以上のご夫婦を中心としたバンドまで個性豊かな850バンドにご参加いただきました。今後もさまざまなイベントを通じ、楽器演奏の楽しさを伝えてまいります。

(注) 記載されている社名、製品名などの固有名詞は、各社の登録商標または商標です。

自由な発想とスピリッツから、
感動を生む「音」を創造する電子楽器の総合ブランド。

Roland

高品位な音を生み出す独自のテクノロジーから、画期的な新製品を次々と打ち出し、世界の音楽シーンをリードする『ローランド』。世界のプロ・ミュージシャンから高い信頼と評価を得ています。ステージやスタジオで活躍しているシンセサイザーや電子ドラム、アンプをはじめ、ご家庭でも楽しめる電子ピアノや電子オルガン、業務用のアンプやスピーカーなど音響機器、そして携帯電話着信音サービスなど様々な商品を通じて「感動」をお届けしています。



伝統の技と先進技術が融合した、
クラシック・オルガンのブランド。

RODGERS

最新のデジタル技術によって、豊かなパイプオルガン・サウンド、ハーモニー、大聖堂さながらの響きを再現した、本格クラシック・オルガンのブランド『ロジャース』。全国のホテルや世界各国の教会、音楽ホールなどで採用されています。



エフェクター世界No.1のシェアを誇る、ギター関連機器ブランド。

BOSS

エフェクター、デジタル・レコーダー、リズム・マシンなどのギター関連機器から、ギタリストの創造力を刺激する「音」をお届けしている『ボス』。世界中の有名ギター・プレイヤーや楽器ファンから信頼のブランドとして熱い支持を受け、コンパクト・エフェクター世界No.1のシェアを誇っています。



自由に創りだす喜びをお届けする、音と映像の編集機器ブランド。

EDIROL

コンピュータ・ミュージック、ビデオ編集機器を中心に展開する『エディロール』。高品位なサウンドの音楽制作や、音と映像の編集を、多彩な製品ラインナップでサポートしています。



次代のソリューションを提案する、コンピュータ周辺機器ブランド。

Roland

デジタル技術の力で「イメージをカタチに」するブランド『ローランド ディー・ジー』。業務用大型カラープリンターや三次元出力装置などから、さまざまなソリューション提案を行っています。



会社の概要 (2004年3月31日現在)

商号	ローランド株式会社 (Roland Corporation)
設立	1972年4月18日
資本金	9,274百万円
主な事業内容	電子楽器、電子機器およびそのソフトウェアの製造販売並びに輸出入
従業員数	705名

役員の状況 (2004年6月18日現在)

取締役社長 (代表取締役)	檀 克 義
専務取締役 (代表取締役)	新 田 寛
専務取締役	菊 本 忠 男
常務取締役	西 澤 一 朗
取締役	三 木 純 一
取締役	近 藤 公 孝
取締役	田 中 英 一
常勤監査役	庄 司 東 生
常勤監査役	河 合 保
監査役	川 島 実
監査役	前 川 三喜男
特別顧問	梯 郁 太 郎 (創業者)
会計監査人	監査法人トーマツ

(注)監査役 川島 実氏および前川 三喜男氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役です。

事業所 (2004年6月18日現在)

本社	大阪市北区曽根崎新地1-4-20
工場	細江工場、都田工場、伊左地工場、松本工場
研究所	浜松研究所
試験センター	都田試験センター
流通センター	浜松流通センター
営業所	札幌営業所、仙台営業所、東京営業所、名古屋営業所、大阪営業所、広島営業所、福岡営業所
音楽教室	北海道センター、首都圏センター渋谷、東海センター佐鳴台、東海センター、関西センター京都、関西センター梅田、広島センター、福岡センター
海外事業所	ロッテルダム事務所

グループ各社 (国内) (2004年6月18日現在)

製造	ボス株式会社
製造	ローランド イーディー株式会社
製造販売	ローランド テック株式会社
販売	ローランド アイ・ピー株式会社
販売	ローランド エス・エス株式会社
製造販売	ローランド ディー・ジー 株式会社

グループ各社 (海外) (2004年6月18日現在)

販売	Roland Corporation U.S. Edirol Corporation North America Roland Canada Music Ltd. Roland Brasil Ltda. Roland Corporation Australia Pty. Ltd. Roland (U.K.) Ltd. Edirol Europe Ltd. Roland Elektronische Musikinstrumente HmbH. Roland France SA Electronic Musical Instruments Roland Scandinavia A/S Roland Benelux N.V. Roland (Switzerland) AG Roland Italy S.p.A. Roland Electronics de Espan a, S.A. Tecnologias Música e Audio, Roland Portugal S.A. Roland East Europe Ltd. Roland Taiwan Enterprise Co., Ltd.
製造	Rodgers Instruments LLC Roland Audio Development Corp. Roland Taiwan Electronic Music Corp. Roland Electronics Suzhou Co., Ltd. Roland Europe S.p.A.
物流	Roland (Shanghai) Logistics Co., Ltd.



<http://www.roland.co.jp/>

